

常翔中学校でストロー建物プログラムを実施しました！

日 時：2019年9月2日（月）13:20～15:10

場 所：常翔中学校 第一特別教室

参加者：常翔中学校 1年生 5クラス（124名）、常翔中学校教員

ファシリテーター：建築学科生9名＋教員1名（計10名）

今回の見どころ

摂南大学では3年前から、常翔中学校でストロー建物プログラムを実施しています。ストロー建物プログラムとは、ストローと紙を柱や床に見立てて建物を作り、壊すプログラムです。建物を作る目的は、“建物の構造”を知ってもらうため、また、壊す目的は、“建物の強さ”を知ってもらうため、です。建物を壊す時はペットボトルが建物に何本載ったかで競い合います。今回、私は作り方の説明役を任せられました。今回の私の目標は、“ものづくりを楽しんでもらうこと”です。そこで私は、大半の生徒が積極的に建物を作り、壊す時は競い合って盛り上がることを目指しました。加えて、私の注目は、“どんな建物ができたのか！”です。

プログラム実施風景



最初に建物の製作方法を説明をしました。初めての発表で緊張しましたが、中学生の元気いっぱいの挨拶でほっとしました。



ストローの本数や建物の高さなど、条件はみんな同じです。その中で、ストローの曲がる部分を使ったり工夫を凝らして建物を作りました。



「どうすれば強くなるの？」と大学生に相談したり、生徒同士でわいわい話をしながら、建物を作りました。



建物を完成させて、慎重にペットボトルを載せていきます。ペットボトルが多く載るにつれて、歓声も大きくなっていきました。



壊れそうな建物を、息をのみながら見守ります。今回の最高記録は4本(8kg)でした！



最後に先生から建物の構造の仕組みについて、「すじかいが重要」とのレクチャーがありました。

プログラムの実施結果

最初の説明時に、教壇まで質問しに来てくれる生徒がいました。また、生徒はみんな笑顔で熱心にプログラムに取り組んでくれて、とてもうれしかったです。生徒が作った建物を見ると、ストローの端をたこ足のようにはきいてしっかりと床に固定したり、ストローを束にして柱の強度を出したりなど、工夫を凝らしていました。中でも、「すじかい」を使った建物が1番多く、驚きました。模型製作後に、大学生が良いと思った建物を選んで発表する予定だったのですが、生徒の相談に乗りすぎて時間を忘れ、予定していた発表時間が足りませんでした。しかし、目標としていた“ものづくりを楽しんでもらうこと”については、班ごとに話し合っただけで盛り上がり、みんなが建物を完成させて笑顔になっていた様子を見て、達成できたと思っています。中学生の皆さん！建物に興味は持てましたか？

今回のプログラム実施にあたり、プログラムに参加して頂いた常翔中学校中学生の皆さん、サポートして頂いた先生方と先輩方に心より感謝申し上げます。